

3. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜食物栄養学科＞（認定課程：栄養教諭二種免）

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	教職に関する科目として「教職の意義と職務」、「教育原理」、「教育心理学」、「生徒指導論」を設定している。これらの講義を通して教員をめざす学生が、教育というものや学校教育、そして教員の仕事やあるべき教師像等、基本的な事柄を広範な視野で学ぶとともに、その後の教職課程での学びの全体像をつかみ、展望を持って進んで行こうとする意欲を持つことを到達目標としている。
	後期	栄養教諭の指導面において特に関連性が高い「教育経営論」、「道徳教育指導論」、「特別活動指導論」、「学校栄養教育法」を2年次で取り組む栄養教育実習など実践的な学習に向けて設定している。これらの講義を通して栄養教諭の学校における役割や、栄養教諭としての指導性をどのような場面でどのように発揮できるかなどの理解を深めるとともに、自覚と責任を養うことを到達目標としている。
2年次	前期	「栄養教育実習」では、夏休み中の栄養教育実習に向けた事前指導として学校を訪問し、給食時間等の授業観察を行ったり、栄養教育実習用の指導案の作成、現場の校長先生から実習上の心得を聞くなど、より実践的な学習を通して栄養教諭の具体的な仕事や役割の理解等を到達目標としている。また「教育方法論」では、授業づくりをする上で是非とも必要な指導方法や指導技術等を発達と合わせて理解するとともに、指導案を作り模擬授業ができることを到達目標としている。
	後期	「教職実践演習」では、栄養教育実習での自分の課題を明らかにしながら「栄養に関する専門性」と「教職に関する専門性」を、現場の学校栄養職員や栄養教諭、現職校長の講話や事例研究等を通して身に付け、より一層レベルの高い食に関する指導や授業ができることを到達目標としている。また、「教育相談」では食に関する個別の指導等を想定し、教育相談の基礎的な知識や技法の理解、子供や保護者との面談の方法の理解、簡単なロールプレイができるようになることなどを到達目標としている。

※ 認定を受けている課程ごとに記載してください。